

## 第26回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

### 1 はじめに

OKB総研では、毎年、岐阜・愛知・三重・滋賀県に在住の主婦を対象に「主婦の消費行動に関するアンケート」を実施している。

2023年は5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが第5類に格下げされた。日常生活がコロナ前に戻りつつあるなか、この地域的主婦は景気をどのように感じ、消費活動を行ったのか、明らかにしたい。

### 2 調査概要

- (1) 調査時期：2023年11月13日～11月17日
- (2) 調査方法：OKB大垣共立銀行本支店(東京・大阪を除く)に訪れた主婦<sup>(※1)</sup> 819人にアンケート用紙を配布・回収
- (3) 有効回答数：791名(有効回答率96.6%)
- (4) 回答者属性

年代	20歳代	6.5%
	30歳代	24.0%
40歳代	23.0%	
50歳代	28.7%	
60歳以上	17.9%	
住所	岐阜県	53.7%
	愛知県	41.9%
	三重県	2.2%
	滋賀県	2.0%
	その他	0.3%
就業形態	専業主婦	8.2%
	正社員・公務員・自営業	41.5%
	パートタイマー	46.1%
	その他	4.2%

(※1) 本調査における「主婦」とは、既婚女性で子どもの有無や就業形態は問わない。  
 (※2) 数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある(以下同じ)。

### 3 調査結果

#### (1) 主婦の景気判断

##### A. 主婦の景況感

「現在(2023年)の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「良くなった」が全体の5.6%、「変わらない」が36.4%、「悪くなった」が49.3%となった(図表1)。「悪くなった」が前回調査(2022年11月)から11.4ポイント低下。また、全ての属性において「悪くなった」の回答率が前回から低下した(図表2)。景況D.I.(「良くなった」の回答率－

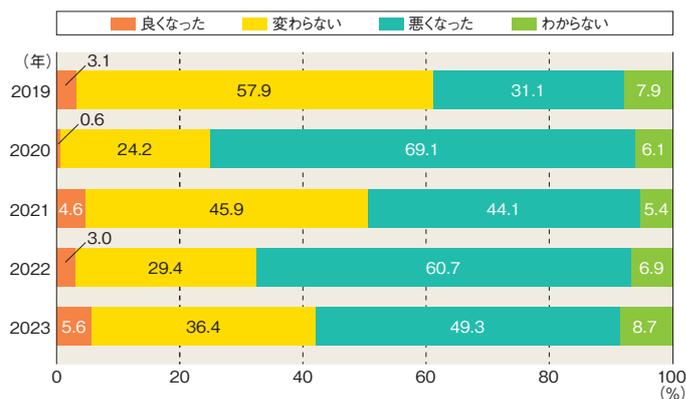
「悪くなった」の回答率)は▲43.7と、前回から14.0ポイント上昇した(図表3)。

##### B. 主婦の物価観

「現在の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の97.7%、「変わらない」が1.4%、「安くなった」が0.3%となった。「高くなった」は前回の98.7%からほぼ横ばいだった(図表4、5)。

物価D.I.(「高くなった」の回答率－「安くなった」の回答率)は97.4と、前回の98.6からほぼ横ばいだった(図表6)。

図表1 主婦の景況感(全体)の推移



図表2 主婦の景況感(属性別)

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	5.6 (2.6)	36.4 (7.0)	49.3 (▲11.4)	8.7 (1.8)
20歳代	8.0 (6.1)	38.0 (13.0)	46.0 (▲13.6)	8.0 (▲5.5)
30歳代	5.9 (2.7)	40.3 (4.6)	46.2 (▲8.6)	7.5 (1.1)
40歳代	5.0 (1.9)	39.4 (5.4)	45.6 (▲10.9)	10.0 (3.7)
50歳代	6.3 (3.2)	36.2 (11.3)	49.6 (▲16.3)	8.0 (1.9)
60歳以上	4.3 (1.4)	26.8 (2.2)	58.7 (▲6.5)	10.1 (2.9)
岐阜県	5.5 (1.3)	37.0 (7.9)	49.6 (▲10.5)	7.9 (1.2)
愛知県	6.1 (4.2)	36.7 (7.4)	48.3 (▲13.7)	8.9 (2.1)
専業主婦	3.2 (▲2.1)	31.7 (7.1)	50.8 (▲8.8)	14.3 (3.8)
正社員等	6.3 (2.4)	39.0 (5.8)	49.1 (▲9.1)	5.7 (1.0)
パート	5.6 (4.1)	35.6 (9.0)	48.1 (▲15.5)	10.8 (2.5)

(※) 括弧内は、前回差を示す。

## (2) 家計について

### A. 家計の収入

「2023年の家計収入は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の19.2%、「変わらない」が59.8%、「減った」が21.0%となった。「増えた」が前回から6.8ポイント上昇した(図表7)。「増えた」と回答した理由としては、昇給や賃上げ、最低賃金の引き上げ、育休から

の職場復帰や働く時間の増加などが挙げられた。

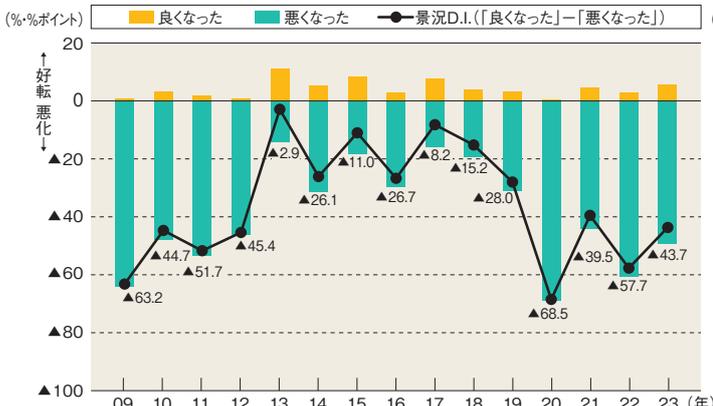
属性別に見ると、全ての属性において「増えた」が上昇した。特に20歳代や30歳代の「増えた」の回答率は、他の年代に比べて高くなっている。一方、50歳代と60歳以上は他の年代に比べて「増えた」が低く、「減った」が高くなっている(図表8)。

### B. 家計の支出

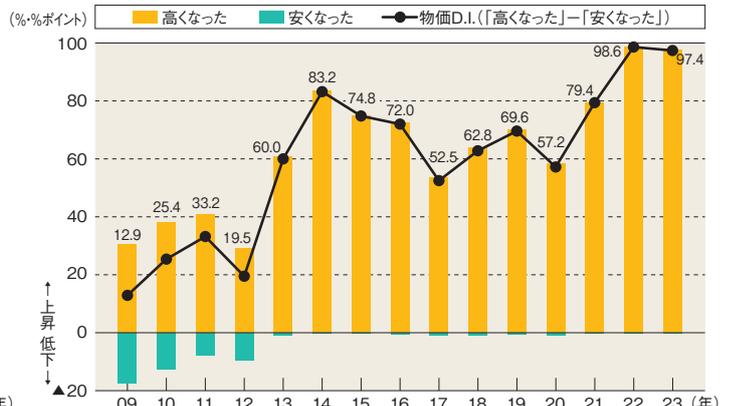
「2023年の家計支出は、1年前と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」が全体の83.4%、「変わらない」が13.2%、「減った」が3.4%となった(図表9)。「増えた」と回答した理由としては、食費や光熱費の増加、旅行への支出の増加、物価の上昇が挙げられた。

属性別に見ると、全ての属性におい

図表3 主婦の景況D.I.の推移



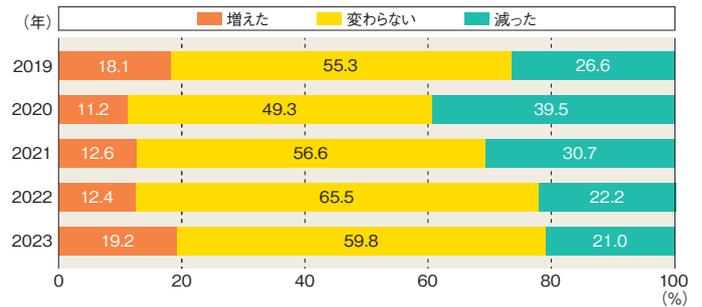
図表6 主婦の物価D.I.の推移



図表4 主婦の物価観(全体)の推移



図表7 家計収入(全体)の推移



図表5 主婦の物価観(属性別)

	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	97.7 (▲1.0)	1.4 (0.8)	0.3 (0.2)	0.6 (0.1)
20歳代	98.0 (▲2.0)	2.0 (2.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
30歳代	96.3 (▲3.1)	1.6 (1.6)	1.1 (1.1)	1.1 (0.5)
40歳代	98.9 (▲0.1)	1.1 (0.6)	0.0 (0.0)	0.0 (▲0.5)
50歳代	97.8 (0.4)	0.9 (▲0.8)	0.0 (▲0.4)	1.3 (0.9)
60歳以上	97.9 (▲1.4)	2.1 (2.1)	0.0 (0.0)	0.0 (▲0.7)
岐阜県	97.4 (▲1.9)	1.4 (0.9)	0.2 (0.2)	0.9 (0.7)
愛知県	97.9 (▲0.3)	1.5 (0.6)	0.3 (0.0)	0.3 (▲0.3)
専業主婦	96.9 (▲1.4)	3.1 (1.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
正社員等	98.1 (▲1.1)	1.2 (0.9)	0.3 (0.3)	0.3 (▲0.3)
パート	97.2 (▲1.0)	1.4 (0.5)	0.3 (0.0)	1.1 (0.5)

(\*) 括弧内は、前回差を示す。

図表8 家計収入(属性別)

	増えた	変わらない	減った
全体	19.2 (6.8)	59.8 (▲5.7)	21.0 (▲1.2)
20歳代	31.4 (8.3)	56.9 (▲12.3)	11.8 (4.1)
30歳代	29.9 (9.0)	54.0 (▲3.6)	16.0 (▲5.5)
40歳代	21.0 (8.9)	62.4 (▲6.5)	16.6 (▲2.3)
50歳代	13.8 (5.0)	60.4 (▲7.6)	25.8 (2.6)
60歳以上	7.1 (2.1)	63.6 (▲1.6)	29.3 (▲0.5)
岐阜県	17.1 (5.8)	61.7 (▲7.2)	21.2 (1.3)
愛知県	21.5 (8.5)	58.0 (▲4.7)	20.5 (▲3.9)
専業主婦	14.3 (12.6)	65.1 (3.0)	20.6 (▲15.6)
正社員等	22.8 (7.8)	57.7 (▲11.5)	19.4 (3.6)
パート	18.7 (6.8)	59.1 (▲2.9)	22.3 (▲3.8)

(\*) 括弧内は、前回差を示す。

て「増えた」が6～9割となった。60歳以上や専業主婦に関しては、「増えた」の回答率が比較的低い一方、40歳代は比較的高くなっている(図表10)。

### C. 家計支出の費目別動向

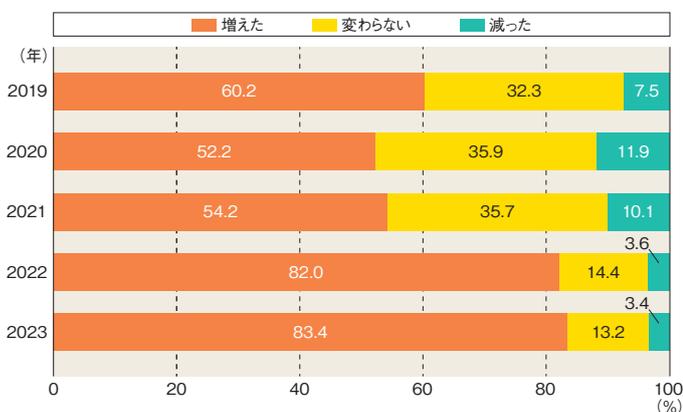
2023年の費目別の家計支出について尋ねたところ、「増えた」が最も高いのは「食費」で79.5%だった(図表11)。

費目別支出D.I.（「増えた」の回答率-「減った」の回答率）を見ると、最も高いのは「交通費（ガソリン代を含む）」で76.6、次いで「食費」が75.9、「光熱・水道費」が72.6となった。前回と比較すると、「レジャー費」は26.4ポイント、「外食費」は18.6ポイント上昇した一方、「保健医療費（マスク・消毒液など含む）」は34.9ポイント低下した

(図表12)。昨年5月に新型コロナが5類に移行したことで外出が増え、マスク着用や手指消毒が減ったことが要因とみられる。

年代別に見ると、「保健医療費」は全ての年代で前回から20ポイント超低下した。「レジャー費」、「外食費」は全ての年代で前回から上昇した一方、D.I.は40歳以上で低くなっており、特

図表9 家計支出(全体)の推移

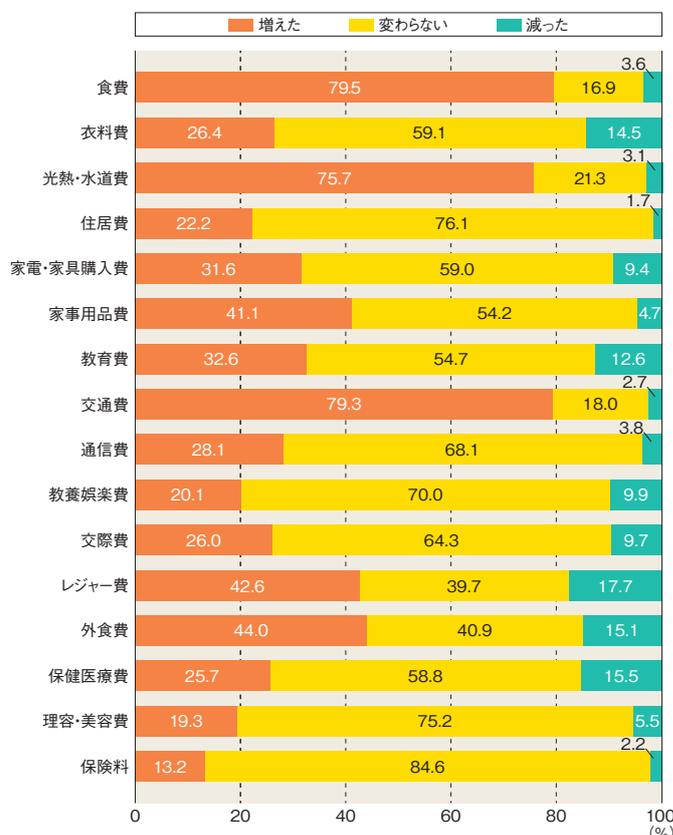


図表10 家計支出(属性別)

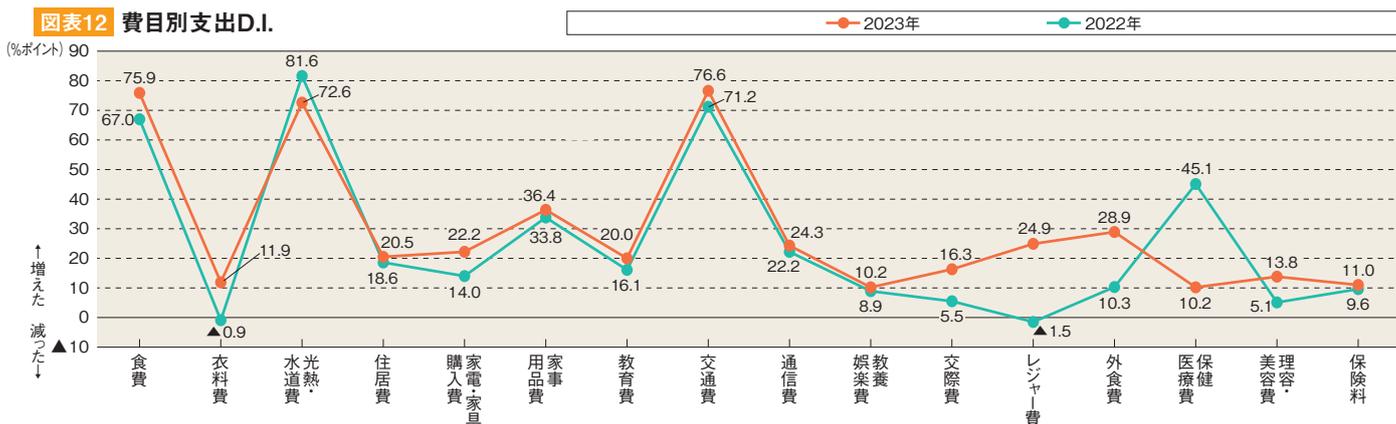
	増えた (%・%ポイント)	変わらない (%・%ポイント)	減った (%・%ポイント)
全体	83.4 (▲1.4)	13.2 (▲1.2)	3.4 (▲0.2)
20歳代	80.4 (▲11.9)	17.6 (▲9.9)	2.0 (▲2.0)
30歳代	87.2 (▲3.7)	10.6 (▲2.1)	2.1 (▲1.7)
40歳代	91.2 (▲8.0)	7.7 (▲5.4)	1.1 (▲2.6)
50歳代	81.9 (▲2.6)	12.8 (▲4.4)	5.3 (▲1.8)
60歳以上	71.4 (▲8.0)	22.9 (▲6.6)	5.7 (▲1.4)
岐阜県	82.5 (▲0.3)	14.2 (▲0.5)	3.3 (▲0.8)
愛知県	85.2 (▲4.3)	11.2 (▲3.0)	3.6 (▲1.3)
専業主婦	68.3 (▲12.7)	27.0 (▲13.2)	4.8 (▲0.4)
正社員等	86.2 (▲2.9)	10.5 (▲3.4)	3.4 (▲0.6)
パート	84.7 (▲4.2)	12.5 (▲2.7)	2.8 (▲1.5)

(\*)括弧内は、前回差を示す。

図表11 費目別支出(全体)



図表12 費目別支出D.I.



に60歳以上は1ケタ台となっている  
(図表13)。

#### D. 高額商品の購入

「2023年に1商品10万円以上する高価な買い物(家族旅行を含む)をしましたか」と尋ねたところ、「はい」は60.8%で、前回から9.4ポイント上昇した。年代別に見ると、20歳代から40歳

代において「はい」が6割を超えている。

次に、「はい」と回答した人に「具体的にどのような買い物をしましたか」と尋ねたところ、最も高いのは「国内旅行」(51.8%)で、前回から9.4ポイント上昇した。また、「海外旅行」(8.4%)が6.9ポイント伸びて5位に浮上した(図表14)。

年代別に見ると、60歳以上は「一般

家電」、それ以外の年代は「国内旅行」が最も高くなった。「海外旅行」は20歳代で+22.0ポイントと大きく上昇した(図表15)。

### (3) 節約意識について

#### A. 各費目の節約度合い

「各費目について、節約の度合いを4段階でお答えください」と尋ねたこ

図表13 費目別支出D.I.(属性別)

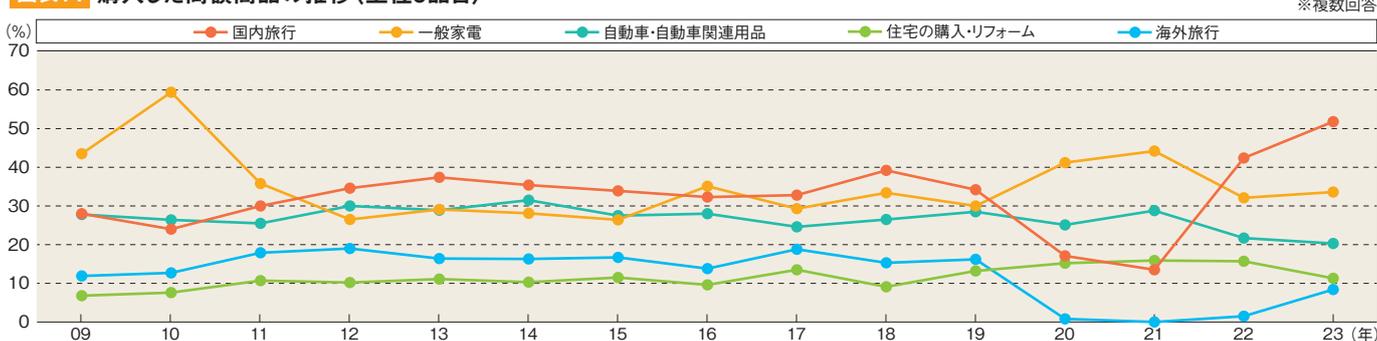
	食費	衣料費	光熱・水道費	住居費	家電・家具購入費	家事用品費	教育費	交通費
全体	75.9 (8.9)	11.9 (12.8)	72.6 (▲9.0)	20.5 (1.9)	22.2 (8.2)	36.4 (2.6)	20.0 (3.9)	76.6 (5.4)
20歳代	86.2 (5.4)	13.7 (7.9)	82.3 (▲0.4)	19.6 (13.8)	22.0 (▲6.8)	41.1 (▲5.1)	11.3 (11.3)	66.7 (▲14.1)
30歳代	82.5 (2.8)	29.2 (14.1)	76.1 (▲10.0)	16.5 (8.2)	16.4 (6.3)	38.1 (▲3.0)	45.6 (3.6)	79.9 (▲4.3)
40歳代	85.0 (13.3)	22.2 (12.2)	77.3 (▲5.9)	16.0 (▲5.5)	19.5 (▲0.1)	46.4 (5.3)	53.7 (13.6)	89.0 (24.7)
50歳代	71.5 (15.8)	0.0 (10.6)	70.2 (▲5.7)	26.9 (2.3)	32.6 (18.5)	35.6 (10.0)	▲10.9 (▲3.6)	73.3 (5.1)
60歳以上	58.0 (▲0.3)	▲7.2 (13.5)	61.3 (▲21.0)	21.9 (1.0)	17.3 (13.7)	19.7 (▲3.9)	▲15.1 (▲7.2)	65.0 (▲1.1)

	通信費	教養娯楽費	交際費	レジャー費	外食費	保健医療費	理容・美容費	保険料
全体	24.3 (2.1)	10.2 (1.3)	16.3 (10.8)	24.9 (26.4)	28.9 (18.6)	10.2 (▲34.9)	13.8 (8.7)	11.0 (1.4)
20歳代	11.8 (2.2)	22.0 (24.0)	36.0 (11.0)	49.0 (6.7)	66.7 (14.8)	11.8 (▲30.6)	19.6 (0.3)	13.7 (▲3.9)
30歳代	17.5 (3.5)	25.6 (▲1.3)	22.0 (9.3)	48.4 (30.6)	51.9 (19.0)	4.8 (▲38.9)	14.2 (5.3)	11.1 (▲1.0)
40歳代	33.7 (0.2)	12.2 (▲7.9)	15.5 (15.5)	23.7 (33.2)	22.6 (13.2)	5.0 (▲42.7)	13.9 (7.6)	10.5 (▲3.1)
50歳代	25.0 (1.2)	1.3 (4.8)	15.2 (14.8)	12.9 (20.8)	23.1 (27.9)	13.8 (▲30.1)	17.4 (15.2)	9.4 (4.1)
60歳以上	23.0 (4.7)	▲4.4 (▲0.7)	5.0 (▲2.2)	7.2 (25.4)	1.4 (5.0)	18.7 (▲25.9)	5.7 (8.5)	13.9 (8.9)

(※1)括弧内は、前回差を示す。(※2) は、各費目における最大値を示す。(※3)太字は、各属性における最大値を示す。

図表14 購入した高額商品の推移(上位5品目)

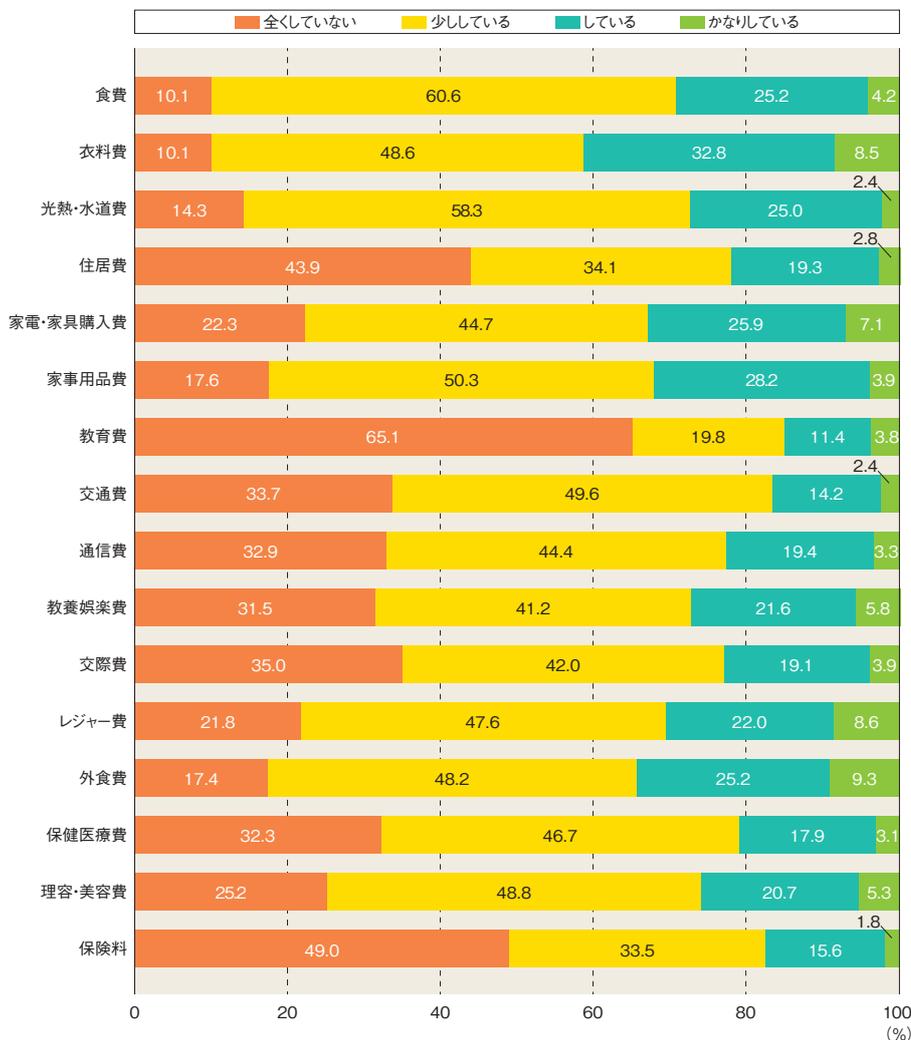


図表15 購入した高額商品(上位5品目、属性別)

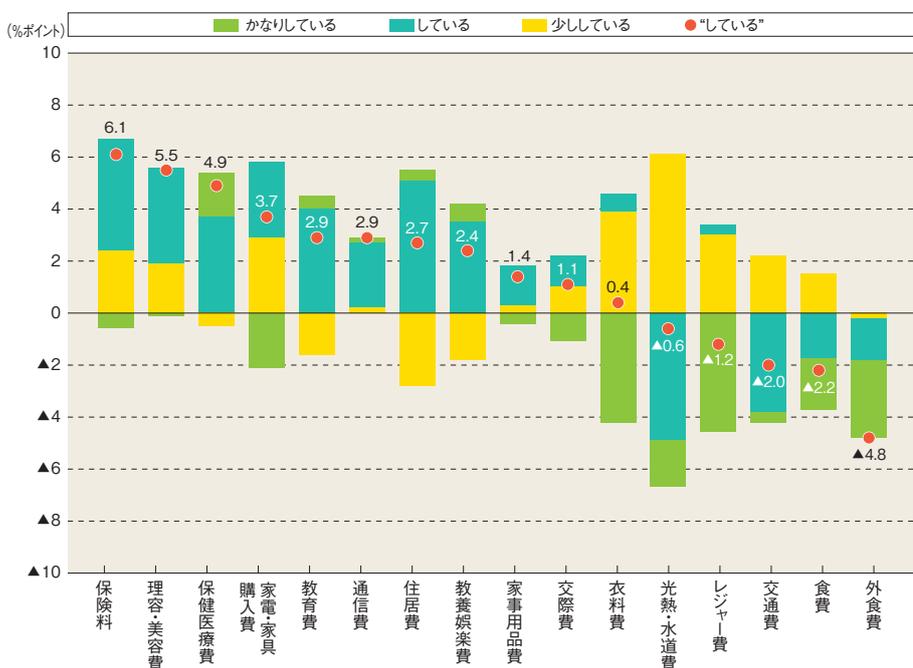
	国内旅行	一般家電	自動車・自動車関連用品	住宅の購入・リフォーム	海外旅行
全体	51.8 (9.4)	33.6 (1.5)	20.3 (▲1.4)	11.3 (▲4.4)	8.4 (6.9)
20歳代	47.2 (4.8)	27.8 (▲2.5)	19.4 (4.2)	13.9 (4.8)	25.0 (22.0)
30歳代	64.7 (9.8)	26.1 (0.5)	21.0 (5.1)	15.1 (▲4.4)	6.7 (5.5)
40歳代	55.7 (13.0)	30.3 (▲4.2)	18.9 (▲3.8)	8.2 (▲4.5)	4.9 (4.9)
50歳代	42.6 (6.8)	40.3 (7.3)	23.3 (▲3.1)	8.5 (▲10.4)	6.2 (3.4)
60歳以上	42.3 (6.8)	43.7 (9.8)	16.9 (▲7.3)	14.1 (▲0.4)	11.3 (9.7)
岐阜県	48.7 (8.5)	33.6 (0.9)	22.0 (0.9)	12.5 (▲4.1)	6.0 (5.0)
愛知県	54.6 (9.1)	32.6 (1.9)	19.4 (▲3.9)	10.1 (▲4.7)	10.1 (7.8)
専業主婦	50.0 (4.2)	46.9 (17.7)	15.6 (▲13.6)	28.1 (11.4)	9.4 (5.2)
正社員等	54.3 (13.2)	30.0 (▲6.5)	16.7 (▲1.6)	11.4 (▲1.8)	13.3 (10.8)
パート	50.0 (9.0)	35.1 (6.5)	24.8 (▲1.3)	9.0 (▲10.3)	3.6 (3.6)

(※1) は、各属性における最も回答率の高い品目。(※2)括弧内は、前回差を示す。

図表16 各費目の節約度合い(全体)



図表17 “節約している”の前回差(全体)



ろ、「少ししている」「している」「かなりしている」を合わせた「節約している」は、全16費目中15費目で50%を超えた。最も高いのは「食費」で90.0%だった。「全くしていない」が最も高いのは「教育費」で65.1%だった(図表16)。

また、「節約している」の回答割合を前回と比較すると、「保険料」や「美容・美容費」は上昇している一方、「外食費」は低下している(図表17)。幅広い費目で節約に努める一方、外食に関しては、コロナ禍の反動や節約の息抜きの意味合いもあって、節約度合いを若干緩めているのだろうか。

“節約している”を年代別に見ると、20歳代から40歳代は「食費」、50歳代は「衣料費」、60歳以上は「光熱・水道費」が最も高くなった。費目別に年代ごとの“節約している”をみると、最も高い割合は50歳代に集中しており、最も低い割合は20歳代や30歳代に集中している(図表18)。

## B. 節約のための工夫

「節約のために工夫していることは何ですか(あてはまるもの全て選択)」と尋ねたところ、「ポイント・クーポン・割引券等を活用する」が71.9%で最も高く、次いで「特売品・安価商品を購入する」が69.6%、「必要なものだけを購入する」が59.2%となった。「必要なものだけを購入する」と「食費を抑える(外食を減らす以外)」はそれぞれ前回から10ポイント超伸びている(図表19)。

上位5項目を年代別に見ると、20歳代と30歳代、40歳代は「ポイント・クーポン・割引券等を活用する」、60歳以上は「特売品・安価商品を購入する」がそれぞれ最も高くなった。50歳代は

図表18 “節約している”の割合と前回差(年代別)

(%・%ポイント)

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
食費	90.0 (▲2.2)	90.2 (▲2.1)	86.8 (▲6.1)	92.2 (1.8)	92.5 (▲2.3)	86.6 (▲2.7)
衣料費	89.9 (0.4)	80.4 (▲0.4)	85.3 (▲4.4)	91.7 (1.8)	94.7 (4.4)	89.3 (▲1.6)
光熱・水道費	85.7 (▲0.6)	82.3 (3.5)	81.5 (▲1.8)	85.1 (▲0.6)	89.0 (0.4)	89.7 (0.9)
住居費	56.2 (2.7)	45.1 (10.5)	40.3 (6.8)	49.0 (▲6.9)	68.3 (5.3)	73.0 (8.7)
家電・家具購入費	77.7 (3.7)	78.5 (7.3)	69.8 (▲0.5)	72.4 (▲0.3)	86.2 (10.2)	80.6 (3.2)
家事用品費	82.4 (1.4)	84.4 (11.3)	75.1 (▲2.3)	80.0 (▲1.8)	89.7 (5.3)	82.7 (2.3)
教育費	35.0 (2.9)	45.5 (16.0)	32.6 (1.5)	32.5 (▲3.4)	36.0 (7.2)	36.4 (2.4)
交通費	66.2 (▲2.0)	60.0 (▲3.5)	59.8 (▲5.0)	62.0 (▲3.2)	75.0 (2.3)	68.2 (▲0.3)
通信費	67.1 (2.9)	54.0 (▲3.7)	65.6 (11.5)	65.4 (2.2)	71.7 (0.1)	67.6 (2.0)
教養娯楽費	68.6 (2.4)	58.0 (11.1)	58.2 (▲1.4)	68.3 (▲0.2)	80.8 (8.6)	65.9 (▲1.6)
交際費	65.0 (1.1)	51.0 (4.9)	58.0 (▲4.0)	63.5 (▲5.5)	73.4 (7.6)	67.1 (5.0)
レジャー費	78.2 (▲1.2)	70.7 (1.5)	68.8 (▲9.4)	80.7 (1.5)	85.4 (3.5)	78.3 (▲1.3)
外食費	82.7 (▲4.8)	84.3 (3.5)	81.5 (▲8.3)	84.5 (▲4.4)	85.8 (▲2.0)	75.8 (▲8.4)
保健医療費	67.7 (4.9)	62.8 (▲2.6)	61.4 (1.8)	67.9 (6.7)	72.8 (4.7)	68.9 (9.7)
理容・美容費	74.8 (5.5)	72.5 (16.8)	74.1 (4.9)	72.9 (1.5)	77.8 (3.8)	73.5 (10.7)
保険料	50.9 (6.1)	49.0 (0.0)	44.9 (7.6)	47.8 (5.3)	54.0 (4.7)	59.0 (13.0)

(※1)括弧内は、前回差を示す。(※2)色は各費目における最大値、色は各費目における最小値を示す。(※3)太字は、各属性における最大値を示す。

「ポイント・クーポン・割引券等を活用する」と「特売品・安価商品を購入する」が同率で最も高くなった(図表20)。

## (4)買物について

### A. キャッシュレス決済の利用状況

キャッシュレス決済(クレジットカードや電子マネー、スマホ決済など)の利用状況について尋ねたところ、「可能な限りすべてキャッシュレス決済を利用する」が33.2%で最も高くなった。「7~8割程度以上」「可能な限りすべて」と「7~8割程度」を合わせた割合は全体の6割弱を占めた。

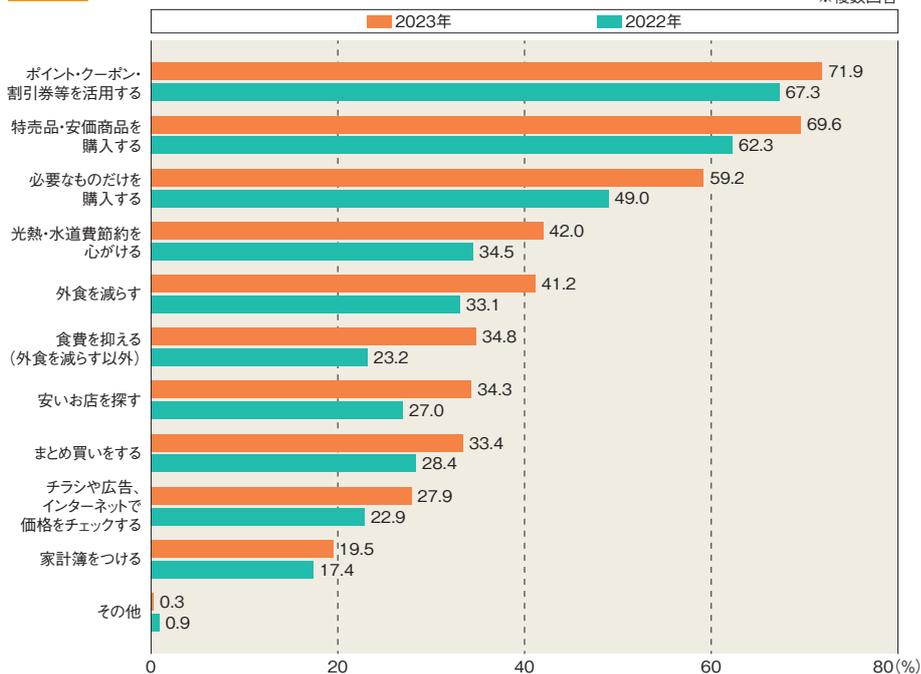
また、「7~8割程度以上」が最も高いのは、年代別では30歳代で75.1%、住所別では愛知県で65.0%、就業形態別では正社員等で67.1%となった(図表21)。

### B. 買物場所の選択基準

「あなたが買物場所を選択するにあたり、重視する点は何ですか(3つまで選択)」と尋ねたところ、「価格」

図表19 節約のために工夫していること(全体)

※複数回答



が76.1%で最も高く、次いで「品揃え」が47.4%、「品質」が47.3%となった(図表22)。

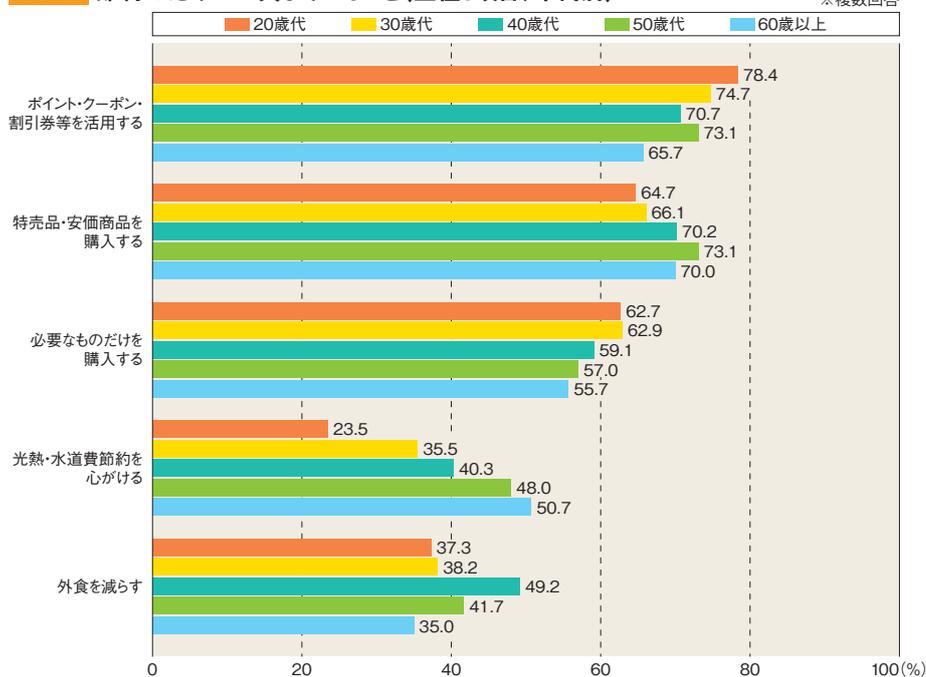
### C. 買物場所の利用回数

「買物場所8業態について、1年前と比べた利用回数をお答え下さい」と尋ねたところ、いずれの業態も「変わ

らない」が過半数を占めた。「増えた」の回答率が最も高いのは「通信販売」(23.7%)、「減った」が最も高いのは「百貨店」(43.0%)だった(図表23)。

買物場所の利用回数D.I.(「増えた」の回答率-「減った」の回答率)を前回と比較すると、特に「通信販売」(▲15.5ポイント)や「ホームセンター」

図表20 節約のために工夫していること(上位5項目、年代別)



図表21 キャッシュレス決済の利用状況(属性別)

	可能な限りすべて	7~8割程度	現金と半分ずつくらい	2~3割程度	現金のみ	7~8割程度以上計
全体	33.2	25.2	21.4	16.1	4.2	58.4
20歳代	49.0	25.5	19.6	5.9	0.0	74.5
30歳代	45.5	29.6	16.4	7.4	1.1	75.1
40歳代	29.3	28.2	22.1	17.7	2.8	57.5
50歳代	31.0	19.9	23.5	23.5	2.2	50.9
60歳以上	19.9	24.1	24.1	17.0	14.9	44.0
岐阜県	30.9	23.3	19.1	21.5	5.2	54.2
愛知県	36.9	28.1	23.0	9.1	3.0	65.0
専業主婦	23.4	25.0	20.3	12.5	18.8	48.4
正社員等	39.7	27.4	19.1	12.3	1.5	67.1
パート	29.9	24.7	23.5	18.6	3.3	54.6

(\*) 色は、各属性における最も回答率の高い項目。

図表22 買物場所の選択基準



(▲12.0ポイント)、「コンビニエンスストア」(▲10.0ポイント)の低下が目立つ。

年代別に見ると、「コンビニエンスストア」、「通信販売」、「ホームセンター」は全ての年代で前回から低下した(図表24)。

#### D. 買物場所の利用頻度

「買物場所8業態について、実際の利用頻度をお答え下さい」と尋ねたところ、「スーパー」は「週2~3回」、「ドラッグストア」は「週1回」、「コンビニエンスストア」「ショッピングセンター」「100円ショップ」「通信販売」は「月1回」、「ホームセンター」は「2~3カ月に1回」、「百貨店」は「ほとんど利用しない」がそれぞれ最も回答率が高かった(図表25)。

### (5) 生活のゆとりについて

#### A. 生活のゆとり

「現在の生活にゆとりを感じますか」と尋ねたところ、「感じる」が1.5%、「どちらかといえば感じる」が23.0%、「どちらかといえば感じない」が55.4%、「感じない」が20.1%となった。「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた「ゆとりがない」は75.5%と、前回の74.2%からほぼ横ばいだった。

また、「ゆとりがない」が最も高いのは、年代別では20歳代で86.2%、就業形態別ではパートで81.2%となった(図表26)。

#### B. 幸福度

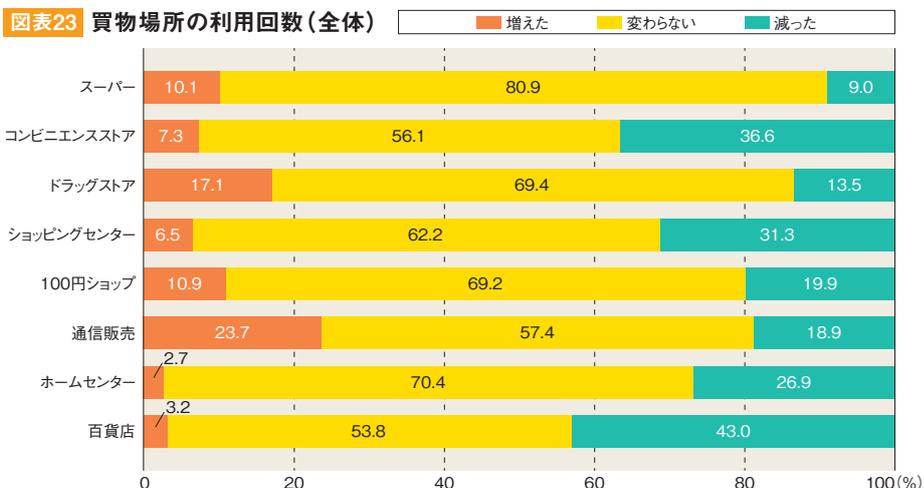
ふだん、どれくらい幸福だと感じるかについて、0点から10点の11段階で尋ねたところ、最も回答率が高いのは「8点」で25.2%、次いで「5点」で23.0%となった。また、平均を算出する

と、全体では6.67点となった。

年代別に見ると、20歳代、30歳代、50歳代は「8点」、40歳代と60歳以上は「5点」が最も回答率が高くなった。また、平均が最も高いのは20歳代で7.18点、最も低いのは60歳以上で6.31点となった(図表27)。

幸福度を目的変数とした数量化1類(注)による分析を行ったところ、生活にゆとりがある人や通信費の支出

図表23 買物場所の利用回数(全体)



図表24 買物場所の利用回数D.I.(年代別)

	スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア	ショッピングセンター	100円ショップ	通信販売	ホームセンター	百貨店
全体	1.1 (▲2.7)	▲29.3 (▲10.0)	3.6 (▲3.9)	▲24.8 (▲3.9)	▲9.0 (▲7.9)	4.8 (▲15.5)	▲24.2 (▲12.0)	▲39.8 (▲3.5)
20歳代	24.0 (6.0)	▲26.0 (▲20.1)	24.0 (4.4)	0.0 (▲7.8)	6.0 (▲13.6)	<b>30.0</b> (▲11.1)	▲24.0 (▲18.1)	▲22.0 (▲4.4)
30歳代	1.2 (▲5.9)	▲24.9 (▲6.7)	3.3 (▲8.6)	▲18.7 (▲1.6)	5.0 (0.4)	<b>13.9</b> (▲26.2)	▲22.5 (▲12.6)	▲35.9 (▲3.6)
40歳代	3.5 (▲1.6)	▲24.4 (▲2.0)	12.1 (5.9)	▲30.6 (▲1.4)	▲18.0 (▲15.2)	4.1 (▲15.5)	▲22.8 (▲10.3)	▲41.4 (▲3.2)
50歳代	▲2.3 (▲1.8)	▲35.9 (▲16.2)	1.4 (▲5.4)	▲29.9 (▲10.6)	▲12.1 (▲7.0)	▲3.7 (▲17.1)	▲27.8 (▲15.8)	▲44.9 (▲11.0)
60歳以上	▲5.2 (▲4.5)	▲32.8 (▲10.5)	▲11.4 (▲12.1)	▲26.2 (1.9)	▲17.2 (▲12.0)	▲2.5 (▲1.7)	▲23.3 (▲6.2)	▲41.8 (6.3)

(※1)括弧内は、前回差を示す。(※2)は、各業態における最大値を示す。(※3)太字は、各属性における最大値を示す。

図表25 買物場所の利用頻度

	ほぼ毎日	週2~3回	週1回	月1回	2~3か月に1回	半年に1回	年に1回	ほとんど利用しない
スーパー	10.1 (▲1.6)	49.9 (▲3.2)	36.9 (5.4)	1.9 (▲1.0)	0.6 (0.6)	0.1 (▲0.2)	0.1 (0.0)	0.3 (▲0.1)
コンビニエンスストア	3.0 (▲0.8)	11.6 (▲1.9)	27.6 (▲1.2)	<b>32.1</b> (2.7)	10.9 (▲0.9)	3.5 (0.2)	0.6 (0.3)	10.8 (1.6)
ドラッグストア	1.0 (▲0.2)	20.3 (1.7)	46.7 (0.6)	27.6 (▲0.9)	3.3 (▲1.0)	0.6 (▲0.2)	0.0 (0.0)	0.4 (▲0.1)
ショッピングセンター	0.6 (▲0.1)	3.3 (▲1.1)	26.2 (3.5)	43.8 (2.8)	18.1 (▲2.1)	4.2 (▲1.1)	1.0 (▲0.7)	2.7 (▲1.4)
100円ショップ	0.0 (0.0)	1.9 (▲0.6)	19.8 (1.3)	48.5 (▲3.0)	20.0 (2.4)	4.7 (0.8)	0.9 (▲0.4)	4.2 (▲0.5)
通信販売	0.6 (0.1)	2.3 (▲0.9)	16.7 (▲0.1)	32.6 (▲3.5)	19.8 (1.0)	7.5 (▲0.9)	4.9 (1.6)	15.6 (2.7)
ホームセンター	0.0 (0.0)	0.4 (0.1)	5.2 (▲2.0)	29.4 (▲6.5)	<b>33.1</b> (3.8)	16.7 (2.5)	6.0 (2.3)	9.2 (▲0.1)
百貨店	0.1 (0.0)	0.3 (0.0)	1.5 (▲0.1)	10.4 (0.5)	20.7 (2.4)	19.5 (2.2)	10.5 (▲2.4)	<b>37.0</b> (▲2.6)

(※1)括弧内は、前回差を示す。(※2)は、各業態における最大値を示す。

図表26 生活のゆとり(属性別)

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	ゆとりがない計
全体	1.5 (0.1)	23.0 (▲1.4)	55.4 (▲0.4)	20.1 (1.7)	75.5 (1.3)
20歳代	0.0 (0.0)	13.7 (▲7.5)	78.4 (11.1)	7.8 (▲3.7)	86.2 (7.4)
30歳代	0.5 (▲1.4)	27.7 (1.8)	58.5 (2.2)	13.3 (▲2.5)	71.8 (▲0.3)
40歳代	2.2 (1.2)	21.2 (▲1.3)	52.0 (▲5.1)	24.6 (5.2)	76.6 (0.1)
50歳代	1.8 (0.5)	20.1 (▲3.9)	55.4 (1.3)	22.8 (2.3)	78.2 (3.6)
60歳以上	2.2 (0.0)	26.6 (▲0.7)	47.5 (▲4.3)	23.7 (5.0)	71.2 (0.7)
岐阜県	1.2 (0.2)	21.7 (▲0.8)	54.2 (▲3.4)	22.9 (4.0)	77.1 (0.6)
愛知県	2.1 (0.2)	24.3 (▲2.6)	57.1 (3.7)	16.4 (▲1.5)	73.5 (2.2)
専業主婦	3.2 (1.4)	33.9 (7.6)	46.8 (▲11.1)	16.1 (2.1)	62.9 (▲9.0)
正社員等	1.2 (▲0.5)	27.2 (0.3)	57.1 (1.4)	14.5 (▲1.3)	71.6 (0.1)
パート	1.7 (0.5)	17.1 (▲4.4)	56.0 (▲0.7)	25.2 (4.6)	81.2 (3.9)

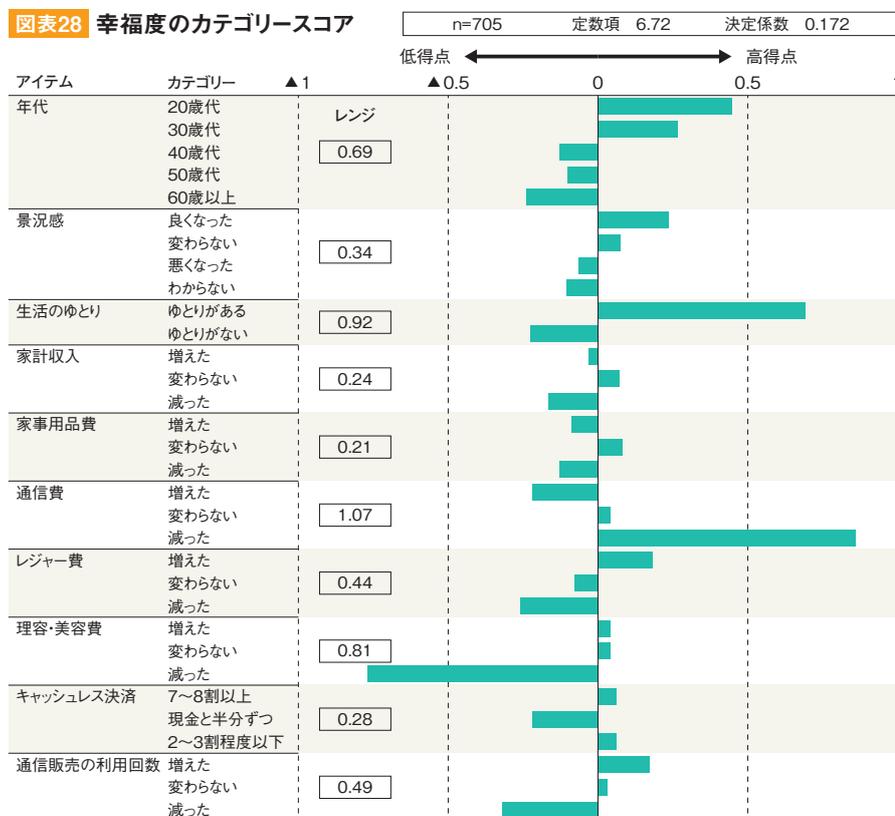
(※)括弧内は、前回差を示す。

図表27 幸福度(属性別)

	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	平均
全体	0.0	0.3	0.6	3.4	3.9	23.0	10.5	20.7	25.2	7.9	4.4	6.67
20歳代	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	13.7	17.6	15.7	35.3	11.8	3.9	7.18
30歳代	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	18.0	9.5	21.2	27.5	11.1	7.4	7.08
40歳代	0.0	0.0	0.0	2.8	5.0	25.0	11.7	23.9	21.1	6.7	3.9	6.58
50歳代	0.0	0.4	1.3	4.9	4.9	21.0	11.2	21.0	25.0	6.7	3.6	6.52
60歳以上	0.0	0.7	1.4	2.9	4.3	34.3	7.1	17.1	24.3	5.7	2.1	6.31
岐阜県	0.0	0.2	0.9	4.3	4.3	25.6	9.2	18.5	26.1	7.8	3.1	6.55
愛知県	0.0	0.3	0.3	2.7	3.6	18.5	12.2	23.7	25.2	7.6	5.8	6.83
専業主婦	0.0	1.6	0.0	4.7	1.6	18.8	14.1	18.8	25.0	9.4	6.3	6.78
正社員等	0.0	0.3	0.6	3.7	3.4	19.5	10.8	21.7	26.9	7.4	5.6	6.79
パート	0.0	0.0	0.8	2.2	4.4	26.1	10.3	20.6	25.0	7.5	3.1	6.60

(\*) 色は、各属性における最も回答率の高い項目。

図表28 幸福度のカテゴリースコア



(※1) カテゴリースコアは、各カテゴリーの目的変数(幸福度)に対する重みを示し、スコアが大きいほど目的変数への貢献度が高い。

(※2) レンジは、各アイテム内でのカテゴリースコアの最小値と最大値との差。目的変数に対する影響度を示す。

が減った人ほど幸福度が低く、理容・美容費の支出が減った人ほど幸福度が低くなった(図表28)。

## 4 時事調査: 推し活について

今回は、好きなアイドルやミュージシャンなどの「推し」を、さまざまな形で応援する活動、いわゆる「推し活」について調査した。

### (1) 推しについて

#### A. 推しの有無

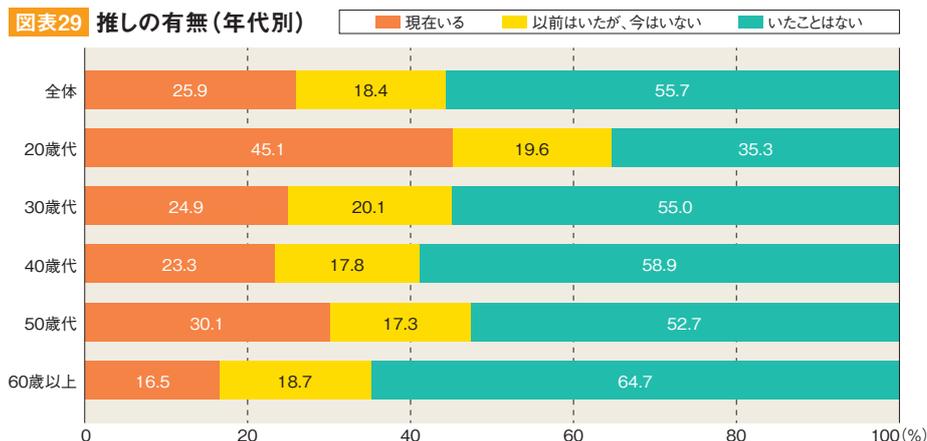
「あなたには、『推し』がいますか」と尋ねたところ、「現在いる」が25.9%、「以前はいたが、今はいない」が18.4%、「いたことはない」が55.7%となった。

年代別に見ると、「現在いる」が最も高いのは20歳代で45.1%だった。また、「いたことはない」が最も高いのは60歳以上で64.7%だった(図表29)。

#### B. 推しのジャンル

推しが「現在いる」「以前はいたが、今はいない」と回答した人に、「あなたの推しのジャンルはどれですか」と尋ねたところ、「ミュージシャン・アーティスト」が37.8%で最も高く、次いで「J-POPアイドル」が32.0%、「K-POP

図表29 推しの有無(年代別)



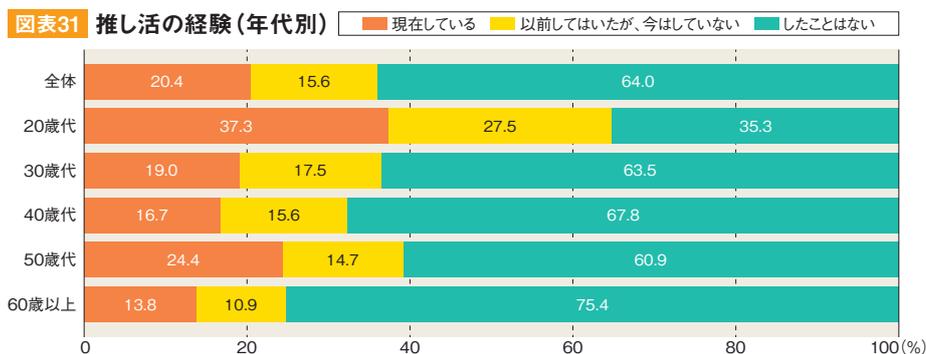
図表30 推しのジャンル(年代別)

※複数回答 (%)

	ミュージシャン・アーティスト	J-POP アイドル	K-POP アイドル・韓流俳優	俳優・モデル	アニメ・マンガ・ゲーム	スポーツ・アスリート	マスコットキャラクター	芸人・タレント	動物	声優	YouTuber・VTuber	人物以外のもの	歴史上の人物	その他
全体	37.8	32.0	18.9	16.9	9.9	6.1	5.8	4.9	3.5	2.3	1.7	1.5	1.2	2.9
20歳代	42.4	36.4	24.2	15.2	21.2	6.1	9.1	3.0	9.1	3.0	9.1	3.0	3.0	3.0
30歳代	34.1	43.9	9.8	13.4	11.0	1.2	6.1	2.4	2.4	3.7	1.2	1.2	1.2	1.2
40歳代	34.2	24.7	30.1	15.1	11.0	6.8	5.5	5.5	0.0	5.5	0.0	1.4	0.0	2.7
50歳代	37.7	33.0	17.0	17.9	6.6	7.5	4.7	7.5	2.8	0.0	1.9	1.9	0.9	2.8
60歳以上	44.9	16.3	18.4	22.4	4.1	8.2	6.1	4.1	8.2	0.0	0.0	0.0	2.0	6.1

(※1) は、各項目における最大値を示す。(※2) 太字は、各属性における最大値を示す。

図表31 推し活の経験(年代別)



図表32 推し活の費用(年代別)

(%)

	5千円未満	5千円以上1万円未満	1万円以上3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上	お金は使わない
全体	47.3	26.7	15.3	3.6	0.7	0.0	6.4
20歳代	42.4	15.2	30.3	6.1	0.0	0.0	6.1
30歳代	39.1	29.0	18.8	4.3	0.0	0.0	8.7
40歳代	48.3	29.3	13.8	1.7	0.0	0.0	6.9
50歳代	55.2	26.4	11.5	1.1	1.1	0.0	4.6
60歳以上	48.5	30.3	6.1	6.1	3.0	0.0	6.1

(※1) は、各項目における最大値を示す。(※2) 太字は、各属性における最大値を示す。

アイドル・韓流俳優」が18.9%となった。

年代別に見ると、30歳代は「J-POP アイドル」、それ以外の年代は「ミュージシャン・アーティスト」が最も高くなった。また、「J-POPアイドル」は30歳代、「K-POPアイドル・韓流俳優」は40歳代、「アニメ・マンガ・ゲーム」は20歳代で比較的高くなっている(図表30)。

## (2) 推し活について

### A. 推し活の経験

「あなたは、『推し活』をしていますか」と尋ねたところ、「現在している」が20.4%、「以前はしていたが、今はし

ていない」が15.6%、「したことはない」が64.0%となった。

年代別に見ると、「現在している」が最も高いのは20歳代で37.3%だった。また、「以前はしていたが、今はしていない」が最も高いのは20歳代で27.5%、「したことはない」が最も高いのは60歳以上で75.4%だった(図表31)。

### B. 推し活の費用

推し活を「現在している」「以前はしていたが、今はしていない」と回答した人に、「推し活にかかる費用は月平均でどれくらいですか」と尋ねたところ

ろ、「5千円未満」が47.3%で最も高く、次いで「5千円以上1万円未満」が26.7%、「1万円以上3万円未満」が15.3%となった。

年代別に見ると、全ての年代で「5千円未満」が最も高くなった。「1万円以上」との回答は、20歳代が36.4%と、他の年代に比べて高くなっている(図表32)。

## C. 具体的な推し活

推し活を「現在している」「以前はしていたが、今はしていない」と回答した人に、「あなたがしたことのある推し活はどれですか」と尋ねたところ、「ライブや舞台、イベントに行く」が77.1%で最も高く、次いで「CDやDVDを買う」が69.9%、「グッズを買う」が64.9%となった。

年代別に見ると、30歳代は「CDやDVDを買う」と「グッズを買う」、それ以外の年代は「ライブや舞台、イベントに行く」が最も高くなった。また、「推しが出ているCMや広告の商品、コラボ商品を買う」は20歳代や30歳代で比較的高くなっている(図表33)。

## D. 推し活を一緒に楽しむ相手

推し活を「現在している」「以前はしていたが、今はしていない」と回答し

図表33 具体的な推し活(年代別)

※複数回答(%)

	ライブや舞台、イベントに行く	CDやDVDを買う	グッズを買う	映像や配信、動画を見る	ファンクラブに入会する	インターネットやSNSで情報収集する	雑誌や書籍を買う	推しが出ているCMや広告の商品、コフレ商品を買う	ゆかりのある場所へ行く	推しとおそろいのものを買う	SNSやブログで発信する	オフ会に参加する	グッズを作る	投げ銭をする	その他
全体	77.1	69.9	64.9	50.5	48.4	40.9	38.4	28.7	12.9	7.9	7.2	5.7	5.0	1.1	1.1
20歳代	87.9	78.8	84.8	60.6	57.6	54.5	54.5	48.5	21.2	12.1	15.2	9.1	3.0	0.0	0.0
30歳代	72.1	75.0	75.0	51.5	54.4	52.9	39.7	41.2	11.8	13.2	11.8	4.4	10.3	0.0	0.0
40歳代	70.2	64.9	59.6	57.9	45.6	45.6	35.1	24.6	8.8	8.8	8.8	5.3	3.5	3.5	3.5
50歳代	80.2	67.4	58.1	50.0	44.2	34.9	36.0	22.1	16.3	3.5	2.3	7.0	4.7	1.2	0.0
60歳以上	79.4	64.7	50.0	26.5	41.2	8.8	29.4	5.9	5.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9

(※1) は、各項目における最大値を示す。(※2) 太字は、各属性における最大値を示す。

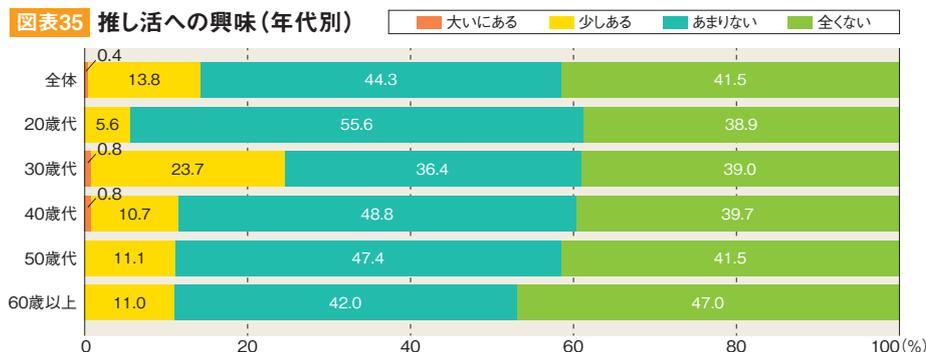
図表34 推し活を一緒に楽しむ相手(年代別)

※複数回答(%)

	友人	自身の子ども	親やきょうだい	配偶者	推し活で知り合った人	職場の人	その他	ひとりで楽しんでいる
全体	46.6	31.0	15.9	11.6	11.6	11.2	0.7	24.5
20歳代	63.6	0.0	36.4	18.2	18.2	18.2	0.0	21.2
30歳代	55.2	17.9	26.9	9.0	7.5	13.4	0.0	29.9
40歳代	36.2	48.3	5.2	15.5	8.6	8.6	0.0	20.7
50歳代	38.8	41.2	9.4	7.1	14.1	11.8	2.4	20.0
60歳以上	48.5	30.3	6.1	15.2	9.1	0.0	0.0	33.3

(※1) は、各項目における最大値を示す。(※2) 太字は、各属性における最大値を示す。

図表35 推し活への興味(年代別)



た人に、「あなたは推し活をどなたかと楽しんでいますか」と尋ねたところ、「友人」が46.6%で最も高く、次いで「自身の子ども」が31.0%となった。「ひとりで楽しんでいる」は24.5%となった。

年代別に見ると、20歳代と30歳代、60歳以上は「友人」、40歳代と50歳代は「自身の子ども」が最も高くなった。また、「自身の子ども」は40歳代、「親やきょうだい」は20歳代や30歳代で比較的高くなっている(図表34)。

### E. 推し活への興味

推し活を「したことはない」と回答し

た人に、「あなたは推し活に興味がありますか」と尋ねたところ、「大いにある」は0.4%、「少しある」は13.8%、「あまりない」は44.3%、「全くない」は41.5%となった。「大いにある」と「少しある」を合わせた割合は14.2%となった。

年代別に見ると、「大いにある」と「少しある」を合わせた割合は、30歳代が24.5%で最も高くなっている(図表35)。

### F. 推し活のメリット

「推し活のメリットは何だと思えますか」と尋ねたところ、「仕事や日常

生活のモチベーションになる」が57.5%で最も高く、次いで「気持ちが癒される」が53.5%、「人生が豊かになる」が39.1%となった。

年代別に見ると、50歳代は「気持ちが癒される」、それ以外の年代は「仕事や日常生活のモチベーションになる」が最も高くなった。また、「人生が豊かになる」は20歳代や30歳代で比較的高くなっている。

推し活の経験別に見ると、「友人が増える・人脈が広がる」、「特にない」を除く項目で、「現在している」が「したことはない」を10ポイント超上回っている(図表36)。

### (3) 推しや推し活についての意見

「推しや推し活について、あなたの思いや意見があればご記入ください(自由回答)」と尋ねたところ、(図表37)のような回答が寄せられた。

## 5 おわりに

2023年はコロナ禍からの正常化の動きが進んだ一方、長引く物価高が重くのしかかっている様子が見えてきた。物価高が続く一方で家計収入は

それほど増えず、生活のゆとりは損なわれ、幸福度にもマイナスの影響を及ぼしている。物価高を上回る所得増に向けた動きが、なおのこと求められる。

今回のトピックスでは、主婦の推し活事情について調査した。

推し活を「現在している」との回答は20.4%と、約5人に1人が推し活をしている結果となった。推し活をしているかどうかは年代によって違いがみられ、特に20歳代で高くなっている。推しのジャンルは「ミュージシャン・アーティスト」が最も高く、推し活の内容は「ライブや舞台、イベントに行く」、月平均の推し活費用は「5千円未満」が最

も高かった。推し活を一緒に楽しむ相手としては「友人」のほか、「自身の子供」が上位となるなど、家族で楽しんでいる人もいる。推し活のメリットとしては、「仕事や日常生活のモチベーションになる」や「気持ちが癒される」という回答が上位を占め、推し活が日々の暮らしのなかで心の支えとなっているようだ。

推し活をした経験のある人は「楽しい」といったポジティブな意見が多く、推し活をしたことがない人でも肯定的な意見が多かった。一方、金銭的・時間的に余裕がなく、推し活どころではないといった意見もみられた。また、物

価高が推し活に影を落としていることがうかがえる意見もあった。

当地域においても一定数の主婦が推し活をしており、推し活は忙しい日常生活に潤いを与える、かけがえない営みとなっていることが分かった。一方で、昨今の物価高が推し活にも影響を及ぼしている様子が垣間見えた点については注意が必要である。

(注) 目的変数(数量データ)と説明変数(カテゴリデータ)の関係性を探る分析手法。

(2024.3.5)

OKB総研 調査部 梅木 風香

図表36 推し活のメリット(年代・推し活経験別)

※複数回答(%)

	仕事や日常生活のモチベーションになる	気持ちが癒される	人生が豊かになる	人生に充足感を感じる	現実を忘れられる	アクティブになる	友人が増える・人脈が広がる	行動範囲が広がる	知識や経験が増える	その他	特にない	
全体	57.5	53.5	39.1	36.5	27.0	26.7	24.5	18.4	11.9	0.3	9.8	
年代別	20歳代	72.3	57.4	61.7	44.7	36.2	31.9	38.3	27.7	25.5	0.0	2.1
	30歳代	60.2	55.6	49.1	43.9	32.7	31.0	22.2	14.6	15.2	0.0	5.3
	40歳代	59.4	51.2	39.4	37.1	28.2	28.2	27.1	15.9	10.6	0.0	9.4
	50歳代	55.8	58.3	34.0	35.0	24.3	26.7	23.3	20.9	8.3	0.5	9.7
	60歳以上	48.0	44.9	25.2	24.4	18.1	16.5	20.5	18.9	9.4	0.8	19.7
推し活経験別	現在している	75.3	74.7	51.9	50.0	35.1	35.7	20.1	29.9	23.4	0.0	0.6
	以前していた	59.1	57.3	43.6	36.4	30.9	30.0	20.0	19.1	10.0	0.0	0.9
	したことはない	51.2	45.5	33.9	31.9	23.4	22.5	26.9	14.4	8.5	0.4	15.1

(\*1) 色付きは、各項目における最大値を示す。(※2) 太字は、各属性における最大値を示す。

図表37 推しや推し活についての意見(推し活経験別・一部抜粋)

推し活を現在している・以前していた	推し活をしたことがない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちが癒されたり、現実逃避できるので、推しがいた方が人生楽しくなります。</li> <li>・日常生活においてのメリハリや仕事のモチベーション作りにおいて、絶対大事!</li> <li>・(推し活は)ON、OFFを切り替えられるもの。はげまされるもの。様々な人の考え方を知ることができるもの。</li> <li>・推し活という言葉がない時代からやっていることなので、推し活は、生活の一部となっています。</li> <li>・年代を気にせず楽しめ、気持ちが若返る気がします。</li> <li>・独身時代のキラキラした高揚感は、主婦として毎日生活していくなかで失われていきました。推しは、その感覚をよみがえらせてくれます。</li> <li>・とじ込めりになりがちな生活に明るさ、楽しさを見だして、行動できるのは、健康面・精神面でもプラスに繋がると思います。経済循環にも一役買っていると思います。</li> <li>・お金に無理なく、家族の理解があれば楽しくやれば良いと思う。</li> <li>・学生の時にアイドルの推し活をしていました。その時は友達と話をしたりしてとても楽しかったです。今は子供が小さいから出来ないけど、将来娘と推し活ができれば楽しいだろうなと思っています。</li> <li>・推し活貯金にまわすお金が、物価高の影響で減ってしまい、寂しいです。</li> <li>・以前はコンサートに行きまくっていましたが、チケット代も高くなって、交通費もかかるので、地元だけの参加にしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の物や人に依存するのはあまりよろしくないが、応援するのはとても良いと思います。それほど一生懸命になれるのは、ある意味うらやましくもあります。悪い事ではないと思う。</li> <li>・「推し」「推し活」など熱中できるものができるという日頃思っています。「推し」「推し活」で人生が豊かになってみえる方々は、羨敵だなと思います。「推し」のお話をお聞きすることは大好きです。</li> <li>・推し活は経済を回すのに効果があると思います。物価高の現代なので「できる人が余裕資金内で」やれば良い事です。</li> <li>・自分のモチベーションや生活にうらおいが出るのなら、とても良いと思う。周囲に迷惑がかからない様、適度な距離感を保って、活動してもらえると良いかと思う。</li> <li>・自分の個性の一部であり、他人に自分を伝えるのに最も分かりやすく伝えられる手段の1つのように感じます。昔はネガティブイメージだったが、今はポジティブにとらえます。</li> <li>・自分は全く興味が無いが、子供がかなり熱心に推し活をしています。心配な面もありますが同じ事を好きな仲間とのつながりが、それこそ年齢や地域に関係なく築けているようで、楽しく話をしてくれる姿を見ると、これもありかなあ…と思っています。心の寄り所になっているようなので、しばらくは見守ってあげたいと思っています。</li> <li>・今は自分の時間が無いが、時間にゆとりができれば推し活も楽しいのではないかと思う。今まで家族のために使っていたお金や時間を、子どもが1人立ちしたら自分のために使っていきたい。</li> <li>・今のところテレビでスポーツや役者を応援するのが気持ちだけで、とくにそれ以上は行動していない。</li> <li>・夫が推しに大量投資しているので、私はやらない。</li> <li>・日常生活で時間はもういっぱいなので、時間があれば推し活より睡眠に充てたい。</li> <li>・現在は物価も上昇し、子供の教育費にも出費がかさみます。「推し」どころではありません。</li> </ul>